

逃亡將校

逃亡将校

桶谷繁雄



著作者 桶谷繁雄^{おけだしげお}

書名「逃亡将校」 昭和三十五年二月

五月初版印刷 昭和三十五年二月十月初版発行 発行者

角川源義 印刷者中内あき子 製本者鈴木俊一 発行所

株式会社角川書店 東京都千代田区富士見町二丁目七番

地 振替口座東京一九五二〇八番 定価貳百八拾円

海 峡 井 上 靖

白 風 赤 い 雲 井 上 靖

あ る 落 日 井 上 靖

パ リ 留 学 生 芹 沢 光 治 良

運 命 の 河 芹 沢 光 治 良

教 祖 様 芹 沢 光 治 良

若 い 川 の 流 れ 石 坂 洋 次 郎

医業も美貌の妻も忘れて野鳥の研究に没頭する医師、友人の雑誌編集長、若い婦人記者、同僚の青年たちがおりなす恋の不連続線は雪の下北半島にまで展開する抒情あふれる力作長篇。
四六判三一〇円

子供を抱えた若く美しい戦争未亡人。彼女は困難な生活の中に立って、愛情と幸福のために最も聡明な生き方を選んで行く。その複雑な人間関係を、清純な子供の眼を通して適確に捉えた長篇。
B 6 判二六〇円

妻のある中年の実業家小杉と若く聡明な清子とは強い愛情で結ばれていた。だが若い建築家箕原の出現は、彼らの愛のバランスを失わせた——円熟の筆致で愛と死を深く追求した異色長篇。
四六判三七〇円

遠くパリにピアノと音楽を学ぶけなな娘たち。「巴里に死す」の作者が二人の娘への愛情と、過ぎにし日パリに花咲いた自己の青春への哀惜をこめて綴った清純な感傷と愛の名篇。
四六判二九〇円

女は不幸である。然し一生に二度幸福な時がある。運命の流れの中に、愛欲と功利の世界に沈む母、睿智と才能と信頼の世界を歩む娘。祖母、母、娘と三代にわたる女の生き方を描く異色長篇。
四六判三三〇円

江戸時代末期、大和の片田舎の一主婦中山みきは、自ら人類の母たらんとして天理教を創始した。身近に天理教を感じて育った著者が十数年を費して資料を集め、ここに完成した異色伝記文学の白眉。
四六判四三〇円

恋愛に傾ける情熱を信じ切れない聡明で美しい二人の女性と健全な青年をめぐってかもし出す清潔なエロスの香気は、はてしなく玄冬の空に匂う。青春と愛情の真実を描く快心の長篇。
四六判二六〇円

愛情列島 高見順

花と鎖 阿部知二

浅草の唄 丹羽文雄

四季の演技 丹羽文雄

瀕死の青春 井上友一郎

女坂 円地文子

薄明のひと 円地文子

尾瀬沼の湖畔に明滅する恋の狂景。美貌の女子大学生をヒロインとし、学生夫婦の恋、中年夫婦の愛欲など、変転極らない人間裸像を見事に描いた高見文学の最新長篇。
B 6判花の篇二六〇円 風の篇二六〇円

若き世代のひとびと、とくに若い女性に寄せる一つのファンタジイ、あるいは希望ともいうべきこの小説は、現代知識人の苦悩を鋭く描き現代日本の社会に生きる若人の指標となりえよう。
B 6判二八〇円

浅草六区の灯が消え、暗くひろがるむなしさをあとにして、山谷の安宿にねぐらを求める男女たち。その陽の当らぬ街にうごめく青春群像を円熟した筆致で描いた巨匠の名品。
四六判二九〇円

清純温雅な私小説作家のまわりに縋りひろげられる母と妻との不純な恋愛の葛藤……この白い肉の魂のどこに精神というものがあるだろうか。巧みに展開される現代のなまなましい人間模様。
B 6判二三〇円

チャンピオンの座を目指すプロボクサーの生活と匂い。ボクシングに青春の喜びと悲しみを賭けた男の喜びと悲しみを浮き彫りにし、男の世界を赤裸々に描きつづいた長篇小説。
B 6判二八〇円

忍従と貞節を強いられる妻の座。横暴な夫の下に妻妾同居の屈辱に耐え、黙々と霜雪の四〇年を生きた女。永遠に変わぬ女身の哀しみと希望を描いた野間文学賞に輝く名作。
B 6判特製三五〇円 並製二五〇円

源氏物語の「夕顔」のようにひっそりと美しい香枝は、結婚して男の正体を知る。そして醜い現代社会の中で彼女は許せるものと許せないものと区別をはっきり見る眼を持った。「女坂」につぐ長篇。四六判二六〇円

愛の濃淡 舟橋聖一

銀座の洋裁店ベルのデザイナー森子と美貌の女客えり美。恋に苦しむ清純な乙女と妖しくも可憐な夜の女と、男心を染め分ける愛の濃淡。都会の夜空にきらめく愛と性の倫理。著者快心の長篇。 B 6判二五〇円

霧子夫人行状 舟橋聖一

「恋の悪事は諸仏もゆるし給うべし」……妖艶な霧子をめぐる男たち、姦通とそして愛欲の果ての放火、心をもとめながらその肉におぼれてしまう女の宿命的行状！ 流麗な愛欲描写牙ゆ。 B 6判一九〇円

愚連隊 獅子文六

——愚連隊という語は、私の故郷、横浜から発生した。ハマで生れてハマで育った作者が、その犀利な批評眼に映る現代世相風俗の微塵を軽妙洒脱に描く快心の珠玉集。 B 6判一九〇円

うそ八万騎 尾崎士郎

堺の鞘師で知恵の固り曾呂利新左衛門がその奇知、奇才を縦横に使い、太閤の懐刀となつて幾変転。伝説的人物に新たな生命を与え本能寺の変から関ヶ原までの世相を描く快心の歴史小説。 B 6判二五〇円

日日平安 山本周五郎

文なしの空腹を理由に八百長切腹を演じようとする菅田平野、その介錯を頼まれる十郎太、お家騒動をバックにして二人がたどる意外な武士の道。読物として興味深く、更に文学的価値高い作品集。 B 6判二七〇円

最後の叛乱 新田次郎

蝦夷地を喰い物にする和人のなかにあって、専心アイヌの為につくし、遂にアイヌ反乱軍に味方して戦う武士。歴史の表面に現われぬ事件や人間を描いて封建時代の断面をえぐる珠玉時代小説集。 四六判三〇〇円

明治恋風 岩下俊作

明治維新、世は大きく変つたが、政府官僚の腐敗、薩長の反目は激しく世相は依然暗澹としていた。混乱の社会を背景に日本全土を舞台として展開する大ロマン「無法松の一生」の著者の野心作。 四六判二七〇円

紅	の	翼	菊村 到
月	蝕	石原慎太郎	
男	の	掟	石原慎太郎
招	か	れた	澤野 久雄
禁	じ	られた	唇
指	名	手	配
故	郷	の	蝶
			富島 健夫

クリスマスの真昼の殺人。破傷風血清と犯人を乗せたセスナ機は八丈島へ飛ぶ。だが同乗した女記者と若きパイロットは敢然として犯人に戦いをいどんだ……スリルに満ちた新鋭の力作。
四六判二八〇円

はなやかなキャバレーの女王綾子には暗い秘密があった。かつて許婚者との間をさかれ、母の不義を見て、彼女は義父に体を与えて出奔した。豊熟した肉体を狙う狂ったような男達……異色長篇。
四六判二八〇円

シベリヤの荒野で死んだ父と兄の復讐のためソ連のスパイとして故国日本の土を踏む男。男の掟は酷薄で残忍だ。シベリヤと北海道を舞台に展開される凄烈な息づまるアクション。
四六判二九〇円

少年の自殺未遂が一人の女性を招いた。一六歳の少年と二四歳の処女の間を生れたのは恋であろうか。名作「夜の河」の作者が、変らぬ青春の真実を描いて若い女性に捧げる長篇大作。
四六判二八〇円

美しい古都のきびしい芸の世界に生き、その宿命に泣く若く美しい舞妓戸美葉の秘められた宿命の初恋……美しき古都にくりひろげられる現代の純愛物語。女心を描きあげた珠玉の数々。
B 40判一七〇円

小河内ダムが生んだ日蔭の村の悲劇、補償金で女に狂う父、その女を殺し奥多摩の山深く逃げる青年、それを追う警察の鋭い眼。新鋭作家が社会問題にメスを入れる書下し長篇。
B 6判二四〇円

上役を殴って都会の生活を迫われた青年十介は故郷に帰り、過ぎし日にめぐりあった少女達と幾つもの恋を交換する。新しい世代の愛とモラルをリアルに描く新鋭の書下し長篇小説。
四六判三二〇円

愛の漂泊者 中河 與一

彼岸花 里見 弴

花は満開 武者小路実篤

白雲先生 武者小路実篤

風のある道 川端 康成

石の夜 駒田 信二

青い果実 大谷 藤子

帝政ロシアの貴族の家に生れ、十月革命に祖国を亡命「瀕死の白鳥」そのままの薄幸な生涯を送った、日本バレエの生みの親エリシアナ・パヴロバの生涯。芸術と満たされぬ愛情に苦悩しぬく人間像。四六判三〇〇円

青春の日を悔なく生きようとする娘たちと、その親たちが結婚問題をめぐって織りなす微妙な対立、愛情の交錯をいよいよ流麗に、巨匠が軽妙な筆致で描き出す胸あたたまる名作。四六判二五〇円

作者の豊かな創造力、独特のヒューマニスティックな人生観、社会観、さらに宇宙観を、この四季の折々に咲かせたともいうべき短篇集によって読者はうかがい知るであろう。B 6判特製七〇〇円 並製二九〇円

処女作らしい人間へのゆるがぬ愛情と信頼を抱きつづけ善意に生きて来た巨匠が、久しい沈黙を破った長篇名作「真理先生」の登場人物はふたたびここに活躍する。四六判特製四五〇円 並製二七〇円

華やかな三人姉妹の母である美貌の宮子は、長女の求婚者に胸をときめかせ、次女の男友達にも想いを寄せる。人生は結局風のある道だ。女ごころの宿命を描いた巨匠の長篇。四六判二八〇円

地方大学の若き教師が直面した悩みと真実。暗い戦争の宿命を背負いながら抱く妻への傷心、恩師への愛憎、無秩序と背徳の現実を描いて話題を投じた新鋭作家書下し長篇力作。B 6判三〇〇円

美しい陰翳を持つ田園風景と素朴な村の人々の中にも、戦争の悲しみと傷痕は深い。純真無垢な少年をめぐって、人々の善意とエゴと生きることの難しさが、果てしもない波瀾をまき起していく。四六判二九〇円

朝の歌 大岡昇平

——中原中也伝——

ころのなかに、深い悲しみがあり、その悲しみを詩でさえも歌えなかった孤独な詩人、三十歳で夭折した天才中原中也の生涯を、「武蔵野夫人」の作者が十数年の歳月をかけて書上げた問題作。 四六判三三〇円

生きるいのち 田宮虎彦

良識と知性と悲哀の作者は、深い人生の悲しみの中に安らぎと平安を見出す。たそがれの薄明の中に洩れる溜息のごとき「生きるいのち」少年の悲しみが白い霧のように漂う「母の死」等の珠玉集。 四六判二九〇円

尼くずれ 今東光

頽廢の尼寺に押寄せる愛欲の波、美しく聡明な素峯尼はここに現実の人間の姿を見、寺の秩序をとりもどそうと努力するが……。『闘鶏』の作者が再び送る問題の力作集。 四六判二六〇円

暖かい町 檀一雄

霧の摩周湖畔で麦子は偶然ロケに來た映画監督宇部に見出される。宇部は麦子に理想の女性美を発見しその主顔映画実現に努力するのだが……。麦子を待ちうける運命は数奇変転をきわめていく。 B6判三〇〇円

つむじ風 梅崎春生

徳川慶喜の曾孫と称しひき逃げの自動車ナンバーを追う奇妙な青年をめぐる、犬猿の仲の二人の銭湯主と女子大生メカケ、ヘボ作家などがまき起こす複雑奇怪な都会の旋風。 B6判二八〇円

南米航路 伊藤永之介

南米航路 新しい希望の天地を求めて行くブラジル植民団! はるけくも往くサンパウロ丸! 悲喜哀歓こもも四十日の船内絵巻を「警察日記」の作者が波浪の映翳のうちに描く野心的長篇。 B6判二五〇円

牙王物語 戸川幸夫

狼を母とし、犬を父とした混血犬キバが烈風吹き荒ぶ北海道の大自然のなかにさまざまな試煉を経て、雄々しく狼として生き抜いた物語。類少ないわが国動物文学の白眉。 B6判上巻二四〇円 下巻二六〇円

魔女宣言 火野葦平

発明に没頭する青年と不思議な魅力をもつ女、二人は偶然に山陽線の一駅で一夜をとるが――奇想天外な事件の発展につれて多彩な登場人物が人生模様を描く風流抄。 四六判三一〇円

小説妖怪を見た 小堀 甚二

ひたむきに社会運動に没頭する夫と、病身で異常なまでに鋭い感覚と強烈な自我を持つ作家である妻。昭和の社会運動史を背景に二つの優れた個性の愛と苦悩を描く著者自身の体験による異色長篇。 四六判三三〇円

大願成就 源氏 鶏太

経営不振の日新工業に向けられた会社乗っ取りの魔手は、資金導入、人事の介入と次第にのびてくる。敢然とこれに立ち向う愛社三人組。人間の善意を讃える現代サラリーマン小説の決定版。 四六判三二〇円

ガラスの中の少女 有馬 頼義

心中死体となって発見され、やがてガラス窓のある寝棺に横たえられた少女は、心の中にどんな秘密を抱いていたか。人間性の奥深く眠る異常性を新鋭作家が鋭く描く異色問題作集。 四六判二五〇円

黒いペナント 有馬 頼義

華やかなプロ野球日本選手権のかげにうごめく不可解な男達と、一かく千金を夢みる人々。優勝の本命ラビッツに八百長試合を演じさせようと乱れとぶ札束。金の前に躍り狂う赤裸々な人間像。 四六判二八〇円

青春の打席 藤澤 桓夫

高校一年で柔道二段の野球嫌い寛太郎がくどき落されて始めた野球の魅力は、彼を大学のスラッガー、そしてプロのヒーローとしててしまふ。スバロツの世界の努力と友情を描く長篇野球小説。 四六判三三〇円

黄色のバット 杉森 久英

甲子園の檯舞台に躍り出た関東の一無名校。その野球部の成長の陰には、選手たちの苦勞と友情、それを励ます少女の群、見守る大人達の愛情があった。既成の野球小説の枠を破る清新な社会小説。 四六判二八〇円

ス パ イ

ホストヴスキー
岡田 真吉訳

ニューヨークの或る精神病院にかくまわれたナゾの男、東西兩陣營の諜報網に巻きこまれた一市民の運命。現代人の不安と息詰る国際スパイ戦を描く実存的推理小説。翻訳権独占
四六判三〇〇円

鮫 と 小 魚

W・オット
桜井 正寅訳

大西洋上の凄絶な海戦。刻々、死に迫込まれるUボートの若人。戦争下の青春群像を極めてリアルに描く新しいタイプのドイツ戦争文学の傑作。「裸者と死者」をしのぐ話題の書。翻訳権独占
四六判三八〇円

完 全 な 愛

C・モルガン
石 川 湧訳

人間は同時に二人の異性を愛し得るか。この古くて新しい命題を「人間のしるし」の作者が鋭くえぐり、現代人の苦悩と課題を誠実に追求し描く感動の最新作。
四六判二九〇円

愛と悲しみの間

F・エブラール
芹沢光治良訳
細田 直孝訳

ひそやかな秋の訪れとともに、幸福な若妻の心にしがび入った夫への疑惑。だが、彼女の聰明な魂の力が再び幸福の日々をとり戻す。仏女流作家による伝統的フランス心理小説の珠玉作。
四六判二九〇円

大 い な る 河

J・カリニコフ
佐藤 亮一訳
石川 信夫訳

恋と自由と出世を夢みてシベリアの僧院を出た二人の若い修道僧の宿命の姿をタテ糸に、革命前夜の旧ロシア社会に生きるさまざまな群像を浮彫りにした隠れた大ロマン。
四六判三八〇円

週 の 第 八 の 日

M・フラスコ
佐藤 亮一訳

貧困と汚辱にまみれ、救いなき日々を生きる若い恋人達に、幸福な「週の第八の日」はいつつ訪れるのだろうか。全世界に嵐のような反響をまき起したポーランド作家の問題作。
四六判二六〇円

雲の中への第一歩

M・フラスコ
工藤 幸雄訳

「怒れる若者」と呼ばれ、「ポーランドのバステルナーク」と喧伝された著者は、祖国の暗い絶望的な現実と希望なき苦悩のかずかずを、若々しい感覚でとらえ、青年らしい怒りをこめて描く。
四六判三二〇円

この先生たち 松田ふみ子編

「一人だち」するまでのわたし達の恩師！現在第一線で活躍中の女流各界第一人者が綴る懐しき学園青春記！よき時代の麗しき師弟愛の数々。心暖まる随筆珠玉集。
B 6判三〇〇円

昭和怪物伝 大宅壮一

現代日本の各界における第一流の人物、普通のモノサシでは測れぬケタ外れの怪物一人人に焦点をあて、混乱した現代社会の実相を、評論界の怪物が、その鋭い筆致と明察で描く痛快読物。
B 6判三三〇円

この道を歩く 武者小路実篤

「この道より我を生かす道なしこの道を歩む」人間が人間らしく生きるための唯一の理想社会「新しき村」の精神的支柱である著者の「新しき村」に関する著書の集大成。人生座右の書。
四六判四八〇円

胡堂 百話 野村胡堂

「銭形平次」によって日本中に愛読者をもつ著者が、新聞に発表して絶讃を博した随筆の数々。啄木との交友録や報知新聞記者時代の思い出、更に深い造詣をもつ音楽の話等々、滋味深い随筆集。
四六判三二〇円

問題と視点 中野好夫

私の時評

コラムのつぶやき 荒垣秀雄

春の陽を浴び、木枯しに震え、雪空を恨む一本の街路樹のように、世の片隅の小さな出来事から世界の大きな動きまで筆者は庶民の心をもって一喜一憂する。朝日新聞連載「天声人語」の集録なる。四六判三三〇円

百 日 説 法 今 東 光

鬼才東光が語る百日の所感……社会時評あり、風俗時評あり、文化論あり、旅行談あり、人物評あり女性批評あり、また酒の話やお色気咄等々……「みみずく説法」姉妹篇。
B 6判二五〇円

南米通信

澁澤敬三

—アマゾン・アンデス・テラローシャ—

移動大使としてメキシコその他南米各国を巡遊して来た、民俗学に造詣深い著者の見聞談。豊富な写真と共に民俗、生活、風俗、風土、珍奇な動植物等々詳細に観察された中南米民俗通信。
B 6判三八〇円

欧米岡目八目

扇谷正造

「週刊朝日」の名編集長の世界一周カメラとペンの見聞録。「ニューヨーク災難記」「マロニエと女とドゴール」と「ロンドンの反日映画」等々、軽妙な筆致の中に鋭い観察と批評を展開する。
B 6判二九〇円

ソヴェート紀行

米川正夫

ロシア文学研究の第一人者が語る戦後ソヴェート見聞記。政治的に無色な者でなければ不可能な観察感想が充満し、ロンドン、国際ペンクラブ、平和会議、パリ中国等にも、独自の瞳が光る。
B 6判二五〇円

北欧・フィヨルド紀行

佐藤亮一

一九五八年第一回国際文学翻訳者会議に出席した著者が、パリ、ロンドン、スカンジナビア、アメリカを廻った旅行記。豊富な写真とスケッチをそえて綴る、現実をその目で確めた紀行記の圧巻。
B 6判三〇〇円

知られざるヒマラヤ

本多勝一

—奥ヒンズークシ探検記—

一九五六年パンジャブ大学と京大共同のヒマラヤ探検隊のメンバーである著者の世界の秘境奥ヒンズークシ探検記。文明に取り残された人々への愛情と感動を若若しい情熱で描く。写真図版多数。
B 6判三三〇円

中近東の内幕

武田信二
宮田信二

中近東諸国は現代の焦点として大きくクローズアップされてきた。英国の歴史学者で中近東史の権威である著者は、驚異的な共産勢力の進出をアラブ民族主義との関連において見事に描き出す。
四六判三九〇円

アフリカは

自由を求めている

—ある叛逆罪裁判の記録—

L・フオーマン
E・S・ザックス
雪山慶正訳

南ア連邦において反逆罪の名のもとに逮捕され暗黒裁判に付された多数の人々の闘いと勝利。植民地主義政策の実態と民族主義運動の血まみれの歴史の叙述は世界中に大きな反響をまき起した。
四六判三二〇円

逃亡校將
目次

第一話	逃亡	五
第二話	額縁	四三
第三話	貸借	八一
第四話	事故	一九
第五話	仮説	一五
第六話	時間	一九三
あとがき		三七

逃亡将校

